

### 特別支援教育関係予算等に関する要望

令和6年度 文部科学省への予算要望事項

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

会長 有吉 万里矢

社会が動き出した現在、コロナ禍を経て急速に進んだ学校でのICT機器の整備や活用がより有効に継続されることを期待しています。また医療的ケアのある児童生徒やその家族がどこに住んでいても、子供にとって最適な学びの環境があり適切な支援が受けられることを私たちは望んでいます。

肢体不自由特別支援学校で求められている、多様な実態の子供たち一人一人に寄り添ったきめ細かな教育と、学校卒業後も子供たちが社会の一員として豊かに生きていく礎となる教育をさらに発展させるため、以下のことを要望いたします。

#### 1. 切れ目のない支援体制の構築

特別支援学校での学びの蓄積を、卒業後の進路先でいかす仕組みが確立されていません。学校と、進路に関わる医療や福祉の関係機関や、就労支援機関との情報共有を円滑に進める連携支援コーディネーター等の配置をしてください。

#### 2. 障害児理解、心のバリアフリーのための交流教育の充実

特別支援学校に通う子供たちにとって地域の学校との交流は、子供たちのできることで、得意なことを知ってもらうなど、地域に生活する一人として認識され、理解されるために貴重な機会です。地域の一員として様々な人と関わりながら安心して生活し続けるには、子供たちだけでなく保護者の理解促進も欠かせません。対面での交流を積極的に進めながらオンラインも活用し、地域の障害児理解が進む取り組みをお願いします。

#### 3. ICT機器を活用した教育の充実

GIGA端末の配備により、特別支援学校各校でも活発に使用が始まっています。肢体不自由特別支援学校に通う児童生徒がICT機器を有効に使用するためには、タブレット端末のみでなくその周辺機器について知識や経験が豊富な人の存在が大変重要です。学校での活用において、ICT支援員や得意とする教員の配置により子供たちの学びに大きな差があるのが現状です。教員、ICT支援員、保護者の連携が進むための手引書の作成と活用及び人的物的支援等で、全国どこでもICTを活用した十分な教育が受けられるようにしてください。

#### 4. 教員の専門性向上のための研修の充実

肢体不自由特別支援学校において、児童生徒の実態がしっかりと理解されて学習環境が整えられた上で1人1人に沿った教育が行われることを期待しています。ベテラン教員から経験の浅い教員に知識や技能が受け継がれるような研修の機会が充実し、専門性が保たれるよう、さらに向上できるようにお願いします。

## 5. 医療的ケア児の学びを保障するための財源措置の拡充

- (1) 医療的ケア児の通学を保護者の付き添いなく行うためにも、学校での医療的ケアを円滑に実施するためにも、看護師不足が深刻です。学校で働く看護師の皆さんが増えるよう、また働き続けたいと思える支援をしてください。
- (2) 看護師不足解消の一助とするため、医療的ケアの三号研修を受けた教員やヘルパーが学校で一定の医療的ケアが行えるように、研修をさらに積極的に進めてください。

## 6. 高等学校段階での職業教育の充実

肢体不自由と知的障害を併せ有する生徒や、一般的な労働時間での就労が身体的な理由により難しい生徒も、働きたい、という意欲を強くもっています。肢体不自由特別支援学校の高等部生徒の就労を促進するため、在学中に遠隔も含む企業等での実習受け入れの拡大を強化するなど、将来に向けて選択肢の増える取り組みをしてください。

## 7. 災害時への備えの強化

全国のどの地域においても災害時に備えて、保護者と学校、学校と地域との日常的な連携や協力的体制が構築されていることが重要です。国として、学校での災害時の薬の取り扱い、居住地の災害用備蓄品の準備等モデル的な取り組みが行われている地域について、積極的に情報提供し共有できる仕組みづくりをお願いします。

## 8. 生涯学習の充実

学校卒業後も学校で学んだことをいかしたい、さらに学びにより成長したいと願う肢体不自由者は多くいます。自宅や生活介護事業所等で、卒業後も豊かな学びが続けられるよう支援をお願いします。

**\*特別支援教育就学奨励費制度の堅持継続と、更なる拡充をお願いします。**